



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 武部 一弘 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,133	2.4	191	15.2	185	14.0	101	△14.6
2019年3月期第3四半期	4,034	△3.6	166	△42.6	162	△40.6	118	△41.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 45百万円 (△24.9%) 2019年3月期第3四半期 60百万円 (△81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	68.27	—
2019年3月期第3四半期	79.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	23,014	11,069	48.0	7,442.86
2019年3月期	23,279	11,025	47.3	7,411.35

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,058百万円 2019年3月期 11,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	7.4	250	242.5	240	263.6	180	74.8	121.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	1,500,000株	2019年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	14,257株	2019年3月期	13,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	1,485,969株	2019年3月期3Q	1,486,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3項「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組むことで運転無事故を継続しており、営業活動においては収益拡大への取り組みを行ってまいりました。とりわけ、当事業年度には当社は創立120周年を迎えたことから、それに因む各種イベントを実施したほか、事業収益の拡大につなげられるよう積極的に取り組みました。また、沿線の市町、商業施設、同業他社なども連携した誘客活動も引き続き実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は4,133百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は191百万円(同15.2%増)、経常利益は185百万円(同14.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は101百万円(同14.6%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、フルラッピングトレイン「彩色兼備(さいしょくけんび)」の運行を開始したほか「秩父鉄道120周年記念乗車券」の発売など、引き続き創立120周年を記念した各種取り組みを実施いたしました。

また、沿線地域、同業他社や異業種とも連携し、多くの企画列車の運行や様々なイベントを開催するなど旅客誘致に努めました。

しかしながら、台風の影響などもあり定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

また、定期旅客についても、定期旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

一方、貨物部門におきましては、輸送量が増加したほか、前年度実施の基本賃率引き上げの効果が大きく、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、経費の削減に努めましたが、人件費の増加などもあり前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、鉄道事業全体としては貨物部門の増収が大きく寄与し、営業収益は2,684百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は34百万円(前年同期は43百万円の営業損失)の増収増益となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、請負工事が順調に推移したほか、駐車場の拡充などにより営業収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は290百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は158百万円(同0.5%増)となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、旅行会社への営業活動や各施設でのイベント開催など旅客誘致に注力いたしました。

また、長瀨駅前に豚みそ井専門店「有隣」を7月に開店するなど新たな増収施策への取り組みを行ったものの、長瀨ラインくだりをはじめとする各事業が天候不順の影響を大きく受けたことから、営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は354百万円(前年同期比11.5%減)、営業損失は8百万円(前年同期は59百万円の営業利益)となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、ラグビーワールドカップ関連の特需もありましたが、全体としては貸切バスの稼働率が伸びず、営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、修繕費の増加などもありましたが、その他の経費の削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は313百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は12百万円(同2,241.4%増)となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、熊谷駅南口のコンビニエンスストアの増収が寄与し、営業収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益781百万円(前年同期比3.3%増)、営業損失は10百万円(前年同期は21百万円の営業損失)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し23,014百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ158百万円減少し1,457百万円、固定資産は105百万円減少し21,556百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加の一方、現金及び預金並びにその他に含まれる補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、その他有価証券の評価額が減少したほか固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ309百万円減少し11,944百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ185百万円減少し3,431百万円、固定負債は123百万円減少し8,513百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金並びにその他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金並びに退職給付に係る負債がそれぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し11,069百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	827,392	684,631
受取手形及び売掛金	317,399	426,058
分譲土地建物	107,356	103,732
商品及び製品	27,524	30,681
原材料及び貯蔵品	136,872	145,810
その他	204,331	71,967
貸倒引当金	△4,418	△5,361
流動資産合計	1,616,458	1,457,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,191,447	14,251,831
減価償却累計額	△9,816,733	△9,891,538
建物及び構築物（純額）	4,374,713	4,360,292
機械装置及び運搬具	5,107,910	5,161,253
減価償却累計額	△4,449,798	△4,565,849
機械装置及び運搬具（純額）	658,112	595,403
土地	15,870,839	15,893,518
その他	707,951	749,676
減価償却累計額	△618,163	△629,512
その他（純額）	89,788	120,164
有形固定資産合計	20,993,453	20,969,378
無形固定資産	27,521	25,923
投資その他の資産		
投資有価証券	593,350	524,455
繰延税金資産	21,751	10,186
その他	48,808	49,057
貸倒引当金	△22,019	△22,087
投資その他の資産合計	641,891	561,612
固定資産合計	21,662,866	21,556,914
資産合計	23,279,324	23,014,434

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,893	128,387
短期借入金	1,159,000	1,214,962
1年内返済予定の長期借入金	1,073,683	999,498
未払法人税等	29,756	18,842
未払消費税等	52,263	100,907
賞与引当金	193,289	115,885
その他	947,590	853,146
流動負債合計	3,617,476	3,431,630
固定負債		
長期借入金	2,108,636	2,011,955
繰延税金負債	11,168	12,123
再評価に係る繰延税金負債	4,554,262	4,554,262
退職給付に係る負債	1,672,809	1,633,146
特別修繕引当金	145,600	161,200
長期預り金	95,761	91,957
その他	48,371	48,371
固定負債合計	8,636,608	8,513,014
負債合計	12,254,085	11,944,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,952	21,952
利益剰余金	△90,729	10,710
自己株式	△30,593	△31,336
株主資本合計	650,629	751,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,621	314,024
土地再評価差額金	9,983,917	9,983,917
退職給付に係る調整累計額	17,406	8,901
その他の包括利益累計額合計	10,362,945	10,306,843
非支配株主持分	11,664	11,618
純資産合計	11,025,239	11,069,788
負債純資産合計	23,279,324	23,014,434

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
営業収益	4,034,549	4,133,337
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,865,381	2,892,453
販売費及び一般管理費	1,003,093	1,049,641
営業費合計	3,868,475	3,942,095
営業利益	166,073	191,242
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	12,391	9,490
土地物件貸付料	16,734	13,418
その他	6,480	7,503
営業外収益合計	35,615	30,421
営業外費用		
支払利息	25,396	22,008
減価償却費	12,285	12,285
その他	1,079	1,670
営業外費用合計	38,761	35,965
経常利益	162,927	185,697
特別利益		
固定資産売却益	1,243	2,643
補助金受入額	300	28,990
事業譲渡益	9,300	—
特別利益合計	10,843	31,633
特別損失		
固定資産圧縮損	—	28,990
固定資産売却損	—	46
固定資産除却及び撤去費	—	13,996
減損損失	—	7,919
120周年記念事業費	—	7,889
特別損失合計	—	58,842
税金等調整前四半期純利益	173,771	158,489
法人税、住民税及び事業税	27,424	23,277
法人税等調整額	27,468	33,795
法人税等合計	54,893	57,073
四半期純利益	118,877	101,416
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	98	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,778	101,440

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	118,877	101,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,484	△47,618
退職給付に係る調整額	△8,067	△8,504
その他の包括利益合計	△58,552	△56,123
四半期包括利益	60,325	45,292
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,247	45,338
非支配株主に係る四半期包括利益	77	△45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,565,774	276,316	399,747	313,930	3,555,769	478,780	4,034,549	—	4,034,549
セグメン ト間の内部 営業収益 又は振 替高	6,799	5,418	853	467	13,537	278,338	291,876	△291,876	—
計	2,572,574	281,734	400,600	314,397	3,569,307	757,118	4,326,425	△291,876	4,034,549
セグメント 利益又は損 失(△)	△43,784	157,407	59,147	528	173,298	△21,774	151,523	14,550	166,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。なお、本年度9月30日をもって、秩鉄タクシー株式会社は、事業譲渡によりタクシー事業を終了いたしました。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額14,550千円には、固定資産未実現損益の消去額1,426千円、セグメント間取引消去13,124千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,676,678	283,946	353,877	312,918	3,627,420	505,916	4,133,337	—	4,133,337
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	7,323	6,677	834	95	14,930	275,914	290,844	△290,844	—
計	2,684,002	290,623	354,711	313,013	3,642,351	781,830	4,424,181	△290,844	4,133,337
セグメント 利益又は損 失(△)	34,582	158,194	△8,177	12,381	196,980	△10,645	186,334	4,907	191,242

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,907千円には、固定資産未実現損益の消去額1,537千円、セグメント間取引消去3,370千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅客人員	定期	千人	4,016	3,948	1.7
	定期外	〃	2,201	2,240	△1.7
	計	〃	6,218	6,188	0.5
貨物トン数		千トン	1,532	1,477	3.7
旅客収入	定期	百万円	547	552	△0.8
	定期外	〃	902	919	△1.8
	計	〃	1,450	1,471	△1.4
貨物収入		〃	1,046	929	12.5